

■給管鳥データユーティリティ 使用説明書

給管鳥データユーティリティは、給管鳥(Ver4.5以降)のデータベースから利用者情報のエクスポートができます。また、別の給管鳥(Ver4.5以降)のデータベースやエクスポートデータからお使いの給管鳥への利用者情報のインポートが行えるツールです。また、利用者基本情報(住所氏名等の頭書き)の CSV ファイルへの書き出しも可能です。

注意:インポートの場合、取り込み元のバージョンが取り込み先のバージョンより新しい場合は、取り込めない場合があります。

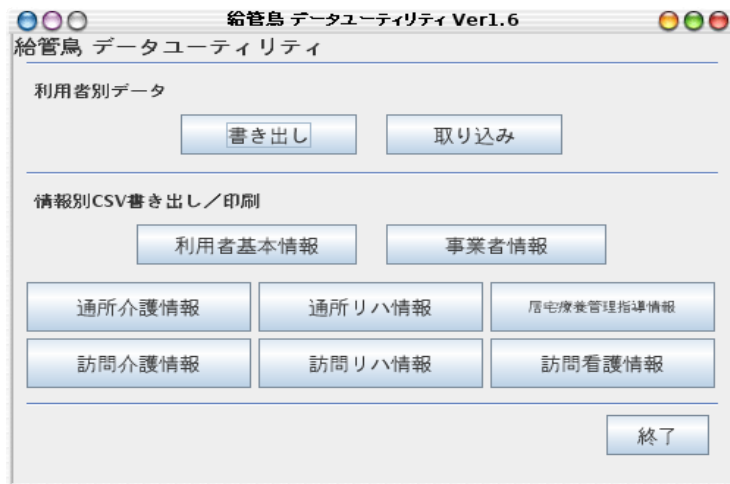
動作条件:

- ・給管鳥(Ver4.5以上)が動作している環境であれば、Windows,Macintoshを問わずどのOSでも動作可能です。
- ・Java Runtime Environment Ver1.4.2以上
- ・Firebird Ver1.5.1以上
- ・給管鳥にて複数台のコンピュータでデータベース共有をしている場合、データベースサーバとなっているコンピュータで実行するか、ローカルホスト上にデータベースを持ってくる必要があります。
- ・上記の場合や、給管鳥のデータベースサーバ(Firebird)のみで運用中のコンピュータで本ツールを実行する場合、ローカルホストに置いたデータベースを設定した給管鳥の設定ファイル(property.xml)が、本ツールの実行ファイル(QDBUtil.jar)と同一フォルダ配下に必要となります。
- ・利用者別データの書き出しの場合、書き出し先に書き出し元データベース(給管鳥で設定のもの)と同サイズ以上の空き容量が必要となります。
- ・給管鳥のデータベースサーバのみで運用中のコンピュータ上で本ツールを実行する場合、Firebird用JDBCドライバ(firebirdsql-full.jar)及びPDF生成クラス(iText.jar,iTextAsian.jar)が本ツールの実行ファイルと同一フォルダ配下にあるlibフォルダ配下に必要となります。
※firebirdsql-full.jar、iText.jar、iTextAsian.jarは給管鳥のフォルダ(qkan4.5)配下のlibフォルダ内にあります。
- ・給管鳥のインストールフォルダ以外の場所に本ツールを設置する場合、以下のディレクトリ構成にする必要があります。

```

~/
├── QDBUtil.jar
├── property.xml (給管鳥のデータベース設定が記述されている事)
└── lib/
    ├── firebirdsql-full.jar (給管鳥本体の配布物に含まれています)
    ├── iText.jar (給管鳥本体の配布物に含まれています)
    └── iTextAsian.jar (給管鳥本体の配布物に含まれています)
  
```

起動画面



利用者別データ:

書き出し: 給管鳥のデータベースから利用者別の情報をファイルに出力します。

取り込み: 給管鳥データベースへ別のファイルから利用者別の情報を取り込みます。
取り込み元ファイルとして給管鳥のデータベースファイルや本ツールで書き出した利用者別データ(FDBファイル)、本ツールで書き出した利用者基本情報と、医見書患者データユーティリティで書き出した患者基本情報(CSVファイル)が選択出来ます。

情報別 CSV 書き出し/印刷:

利用者基本情報: 給管鳥のデータベースから利用者基本情報のみ CSV ファイルへ出力します。
書き出した CSV ファイルは、本ツールの利用者別データの取り込み機能及び、医見書を御使用であれば、医見書患者データユーティリティでの取り込みにも対応します。

事業者情報: 給管鳥に登録されている全事業者の一覧が表示されます。CSV ファイル出力、一覧印刷が可能です。

各サービス利用者情報: 給管鳥のデータベースから各サービス利用者の情報を印刷または CSV ファイルに出力します。
給管鳥で提供サービスとして設定された事業所のデータがある場合のみ表示されます。

現在、通所介護、通所リハ、居宅療養管理指導、訪問介護、訪問リハ、訪問看護、に対応しています。

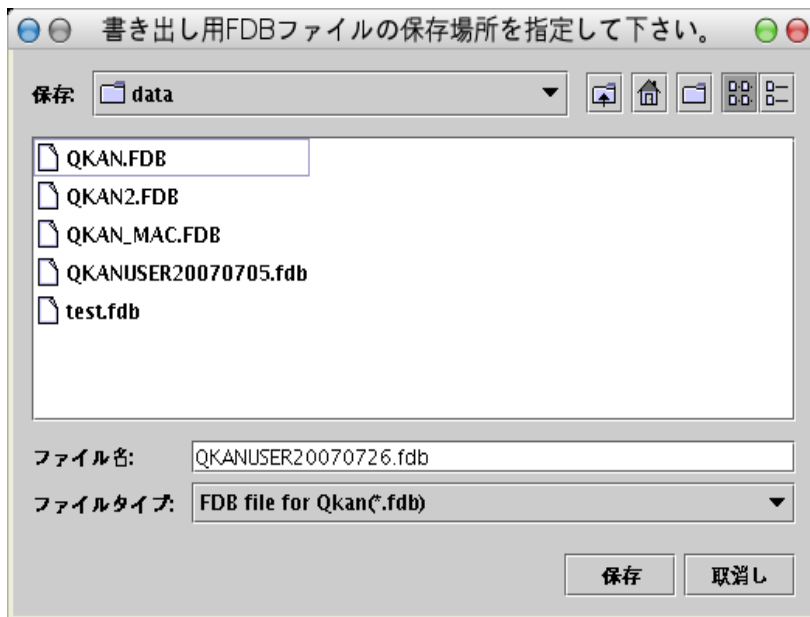
1. 利用者別データ書き出し手順

データユーティリティの起動画面から、利用者別データ:「書き出し」ボタンを押します。

利用者を選択(Ctrlキー,AppleキーやShiftキーを押しながらクリックすると複数選択可能)して「書き出し」を押します。

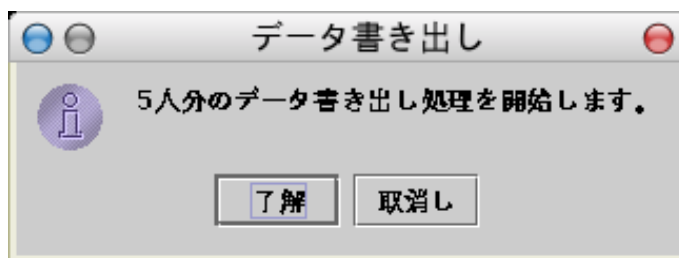


予め書き出し先ファイル名(PATIENT + 日付 + ".fdb")がセットされた状態で保存先を尋ねるダイアログが表示されます。



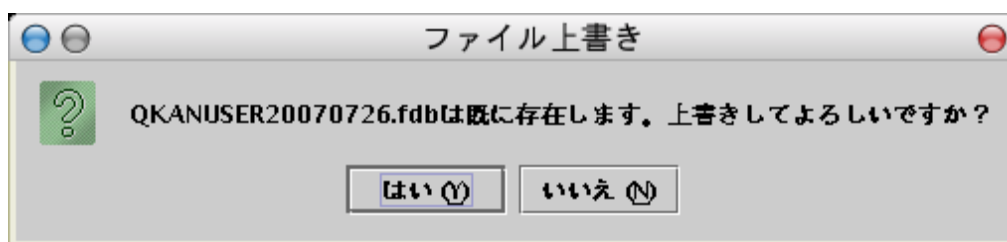
保存先を指定したら「保存」ボタンを押します。

処理開始メッセージが表示されます。ここで取り消す事も可能です。



「了解」ボタンを押すと処理開始です。

書き出し先ファイルが既存のファイルの場合は

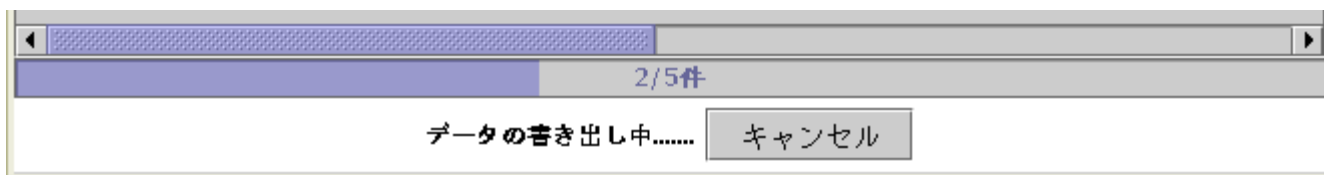


上書きしても良い場合は、「はい」を押します。

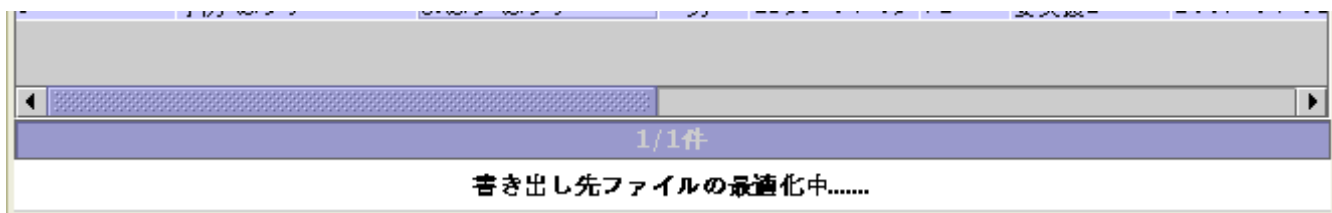
「いいえ」を押すと、書き出し処理を中止します。

※利用者別データ書き出し、利用者一人毎にその利用者のすべての情報をやりとりするため、選択利用者数によっては、数十分の処理時間がかかる場合があります。

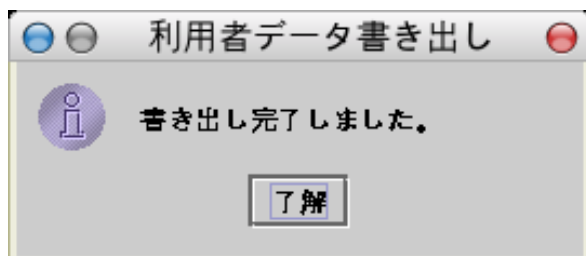
一覧画面下部の進捗バーが進捗状況に応じて変化します。



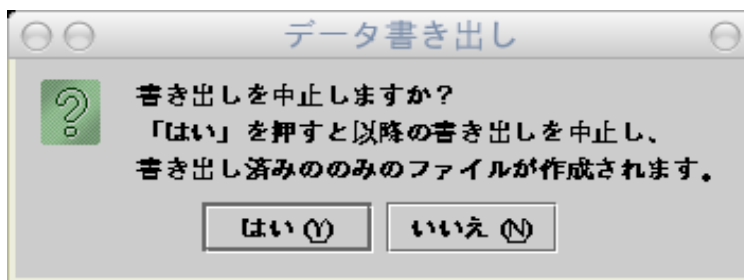
すべての選択利用者の書き出しが終わると、書き出し先ファイルの最適化が行われます。



書き出し先ファイルの保存が終わると完了メッセージが表示されます。



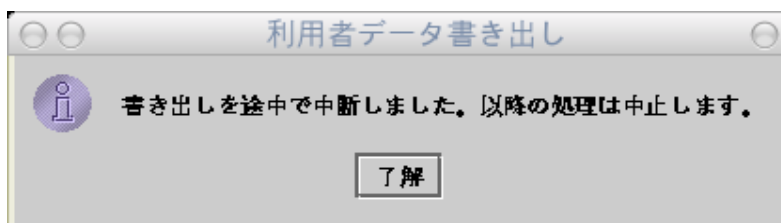
書き出しを途中で中断したい場合は、進捗バーが変化している間であれば「キャンセル」ボタンで中断する事ができます。



書き出しを継続する場合は「いいえ」を押すと処理が再開します。

「はい」を押すと、その時点で書き出し済みの患者までの情報がファイルに保存され、以降の患者の書き出しはキャンセルされます。

※処理完了直前は、進捗バーが変化中「キャンセル」ボタンを押して上記メッセージ画面となったとしても処理を中断できずに処理完了となる場合があります。

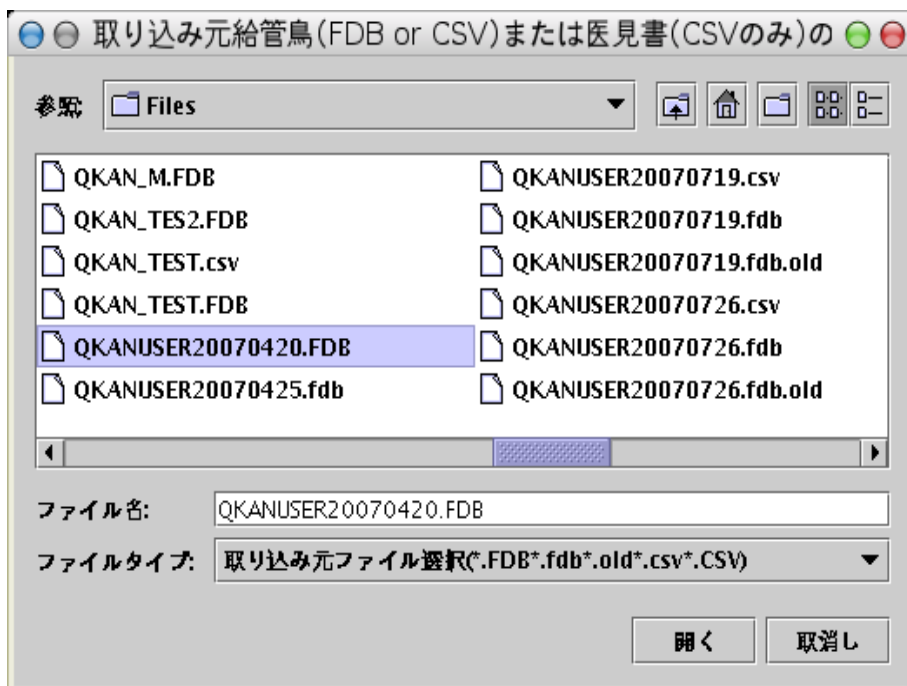


書き出された FDB ファイルは、別のコンピュータの給管鳥へ、本ツール使用により取り込む事が可能です。

※「データの復元」機能では、取り込まないで下さい。

2. 利用者別データ取り込み手順

データユーティリティ起動画面から、利用者別データ:「取り込み」ボタンを押します。
取り込み元データベースの格納場所を尋ねるダイアログが表示されます。



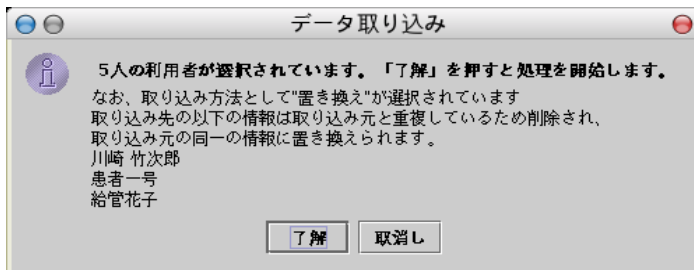
”参照”欄で別の給管鳥データベース(バックアップファイルも可)や「利用者データ別書き出し」で書き出したFDBファイルまたは、「利用者基本情報 CSV 書き出し」や医見書患者データユーティリティで書き出した利用者(患者)基本情報 CSV ファイルが格納されたフォルダを選択し、取り込み元ファイル名を指定して「開く」を押します。



上段に取り込み元に登録されている利用者一覧が、下段に取り込み先(現在給管鳥に設定されているデータベース)の利用者一覧が表示されます。

取り込み元利用者一覧から、取り込む利用者を選択(CTRL キー、Apple キーや Shift キーを押しながらクリックすると複数選択可)して、「取り込み方法の選択」欄のいずれかにチェックを入れて、「取り込み」を押します。

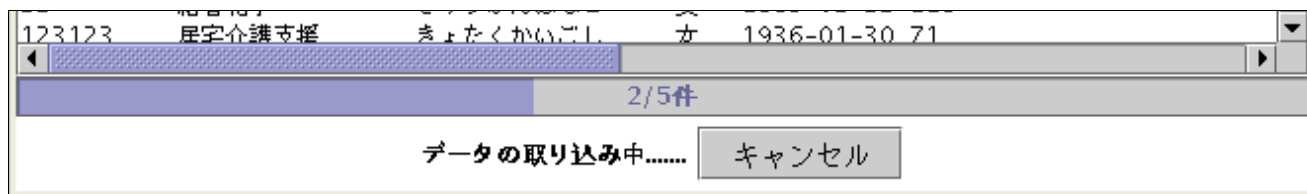
処理開始メッセージが表示されます。
 “置き換え”にチェックを入れていた場合に取り込み元と取り込み先の利用者に重複があると次のような処理開始メッセージとなります。



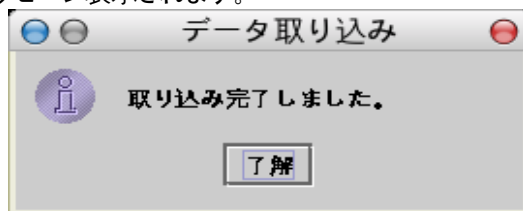
「了解」を押すと取り込み処理を開始します。

※利用者別データ取り込みは、利用者一人毎にその利用者のすべての情報をやりとりするため、選択利用者数によっては、数十分の処理時間がかかる場合があります。

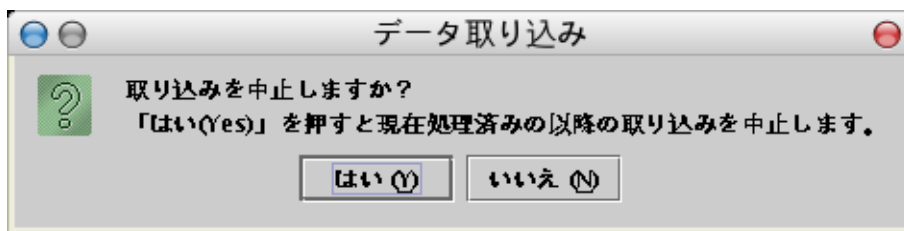
画面最下の進捗バーが状況により変化します。



取り込みが成功すると完了メッセージ表示されます。

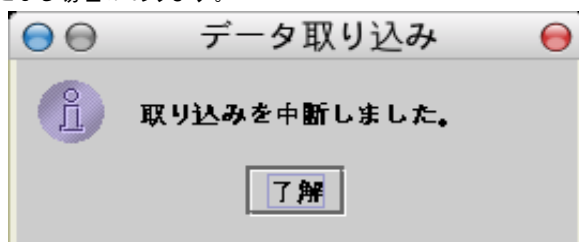


書き出しを途中で中断したい場合は、進捗バーが変化している間であれば「キャンセル」ボタンで中断することができます。



書き出しを継続する場合は「いいえ」を押すと処理が再開します。

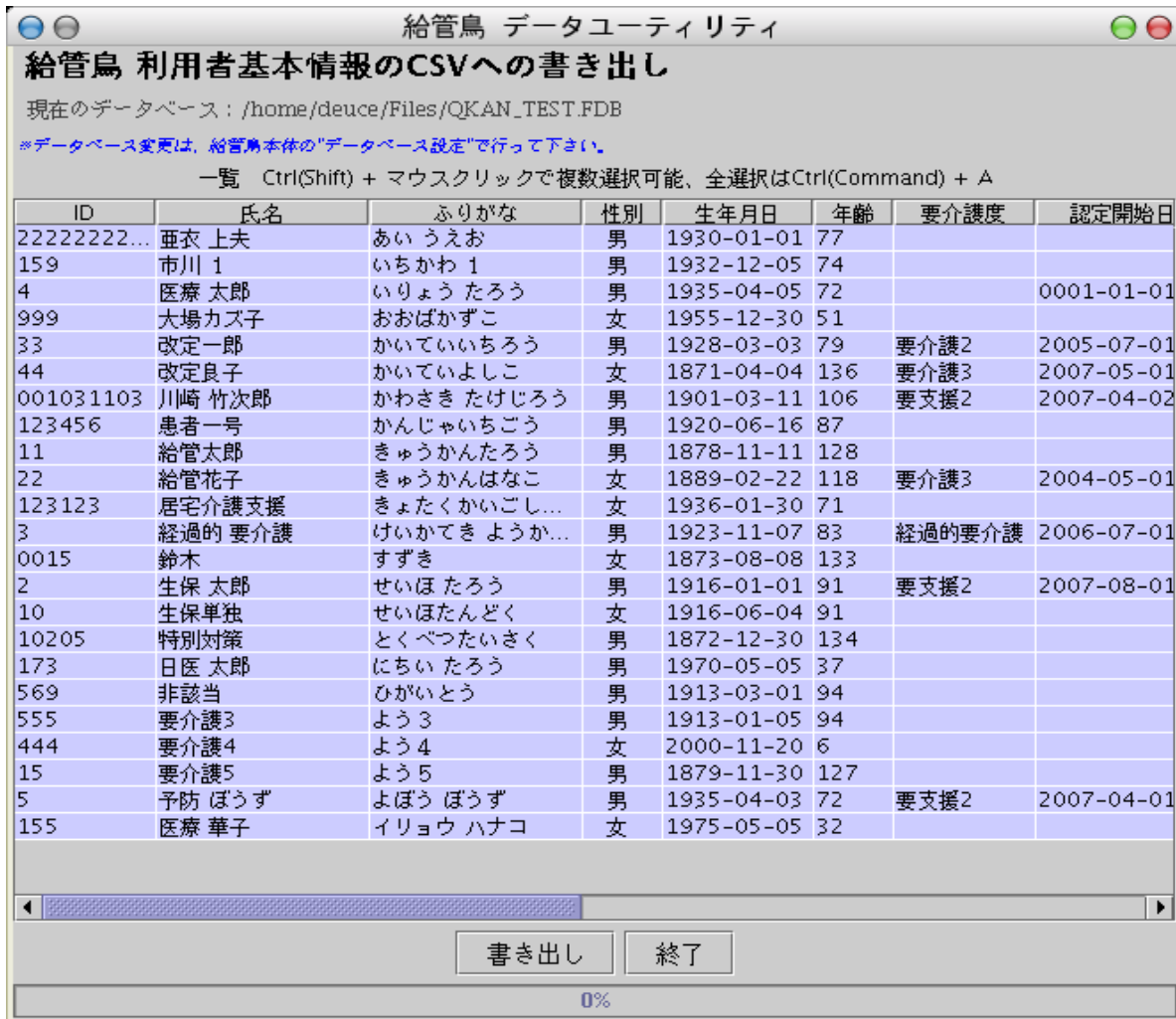
「はい」を押すと、その時点で書き出し済みの利用者までの情報がファイルに保存され以降の利用者の書き出しはキャンセルされます。
 ※処理完了直前は、進捗バーが変化中「キャンセル」ボタンを押して上記メッセージ画面となったとしても処理を中断できずに処理完了となる場合があります。



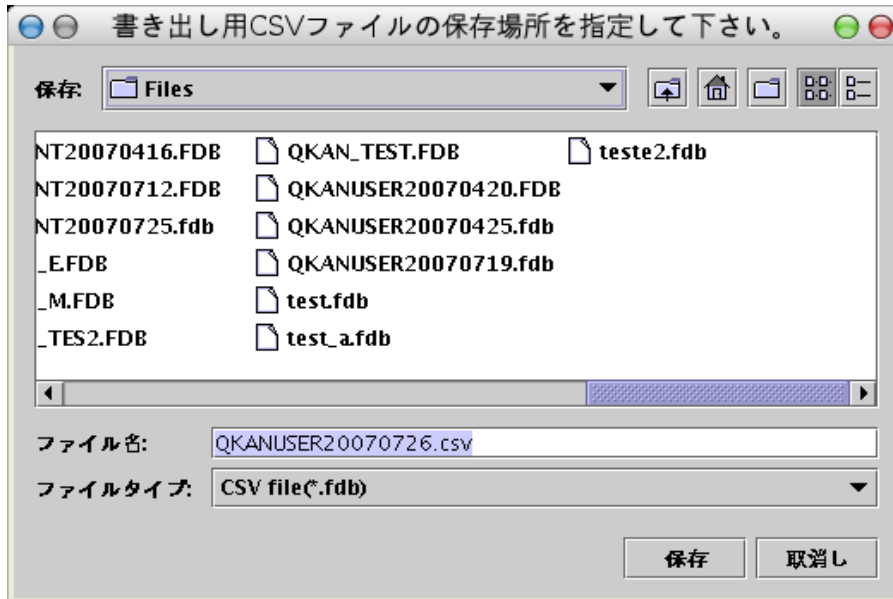
3. 利用者基本情報 CSV 書き出し手順

データユーティリティの起動画面から「利用者基本情報 CSV 書き出し」ボタンを押します。

利用者を選択(Ctrlキー,AppleキーやShiftキーを押しながらクリックすると複数選択可能)して「書き出し」を押します。

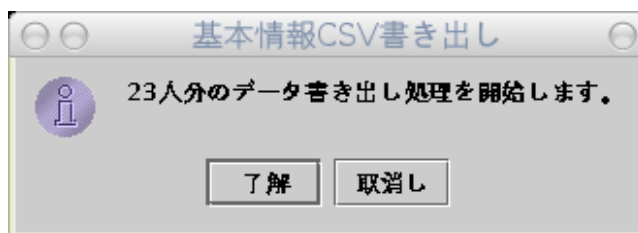


予め書き出し先ファイル名(PATIENT + 日付 + “.csv”)がセットされた状態で保存先を尋ねるダイアログが表示されます。



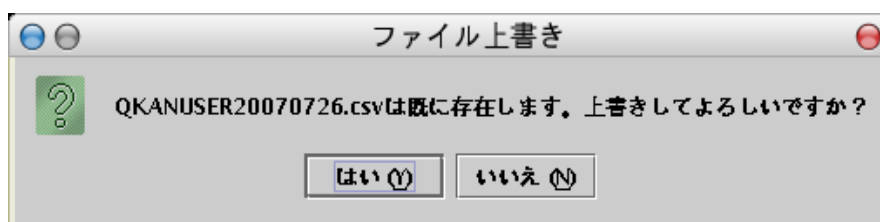
保存先を指定したら「保存」ボタンを押します。

処理開始メッセージが表示されます。ここで取り消す事も可能です。



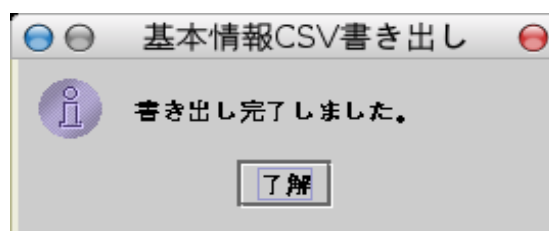
「了解」ボタンを押すと処理開始です。

書き出し先ファイルが既存のファイルの場合は



上書きしても良い場合は、「はい」を押します。
「いいえ」を押すと、書き出し処理を中止します。

書き出し先ファイルの保存が終わると完了メッセージが表示されます。



書き出された CSV ファイルは、本ツールの利用者別データの取り込み機能と
医見書を御使用であれば、医見書患者データユーティリティでの取り込みが可能です。
また、MS-Excel や OpenOffice 等の表計算ソフトでの表示、編集も可能です。

4. 各サービス利用者情報 CSV 書き出し手順

データユーティリティの起動画面から情報別 CSV 書き出し／印刷：出力したい情報のボタンを押します。

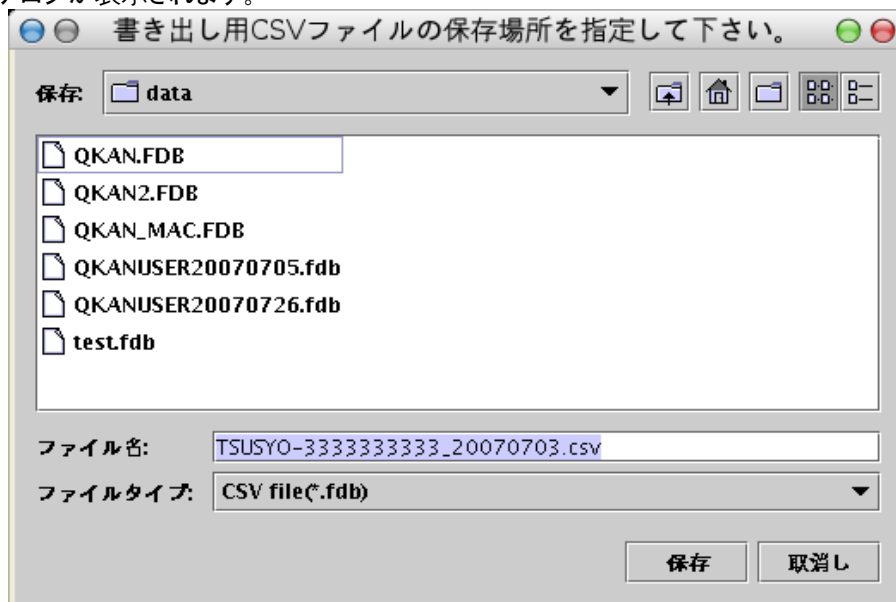
利用者情報画面が表示されます。(以下、画像は通所介護の場合)

一覧に利用者名が表示されていない場合は該当する自事業所を選択し、利用者を表示させます。

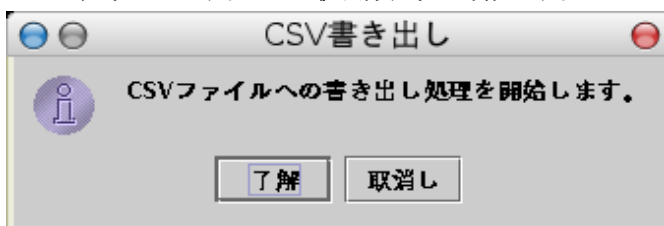
同様に年月、提供日を選択します。



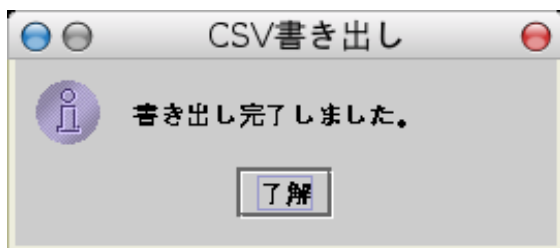
設定後、「書き出し」をクリックします。
 予め書き出し先ファイル名(TSUSYO-事業所番号_ + 日付 + ".csv")がセットされた状態で保存先を尋ねるダイアログが表示されます。



保存先を指定したら「保存」ボタンを押します。
 処理開始メッセージが表示されます。ここで取り消す事も可能です。



書き出し先ファイルの保存が終わると完了メッセージが表示されます。



書き出された CSV ファイルは、MS-Excel や OpenOffice 等の表計算ソフトでの表示、編集が可能です。
 出力された CSV ファイルを表計算ソフトで表示すると以下ようになります。
 罫線や、追加情報などを付加しての集計や、印刷に御利用下さい。
 なお、月間データに含まれる金額は、給管鳥本体にて実績確定された請求データを表示しており、
 日単位データに含まれる金額については、

(↓月間データの場合)

※金額については、給管鳥本体にて実績確定された請求データを参照した金額です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1		デイサービスセンター			通所介護情報	2007年	7月	月間										
2	No.	氏名	年齢	種類	要介護度	時間区分	個別	入浴	若年	栄養	口腔	アク	運動	回数	費用	負担額	その他負担額	負担額合計
3	1	生保 太郎	91		要介護1	3~4時間	有り	有り	無し	有り	有り			4	11478	0	0	0
4	2	医療 太郎	72		非該当	3~6時間	有り	有り	無し	無し	有り			6				
5	3	川崎 竹次郎	106		要介護1	2~3時間	有り	有り	無し	無し	無し			6				
6	4	経過的要介護	83		経過的要介護	3~4時間	有り	無し	有り	有り	有り			3	21227	2123	0	2123
7	5	改定良子	136		要介護3	3~4時間	有り	有り	無し	無し	無し			5	33514	3352	0	3352
8	6	予防 ぼうず	72	予防	要支援2					有り	有り	無し	無し	1	4589	459	0	459

(↓日単位データの場合)

※予防サービスでの費用は月間の金額(加算分を含む)、更に日割の場合は基本単位数のみの日割金額です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1		デイサービスセンター			通所介護情報	2007年	7月	10日										
2	No.	氏名	年齢	種類	要介護度	開始時刻	終了時刻	時間区分	個別	入浴	若年	栄養	口腔	アク	運動	費用	負担額	
3	1	川崎 竹次郎	106		要介護1	1:30	4:30	2~3時間	有り	有り	無し	無し	無し			3967	397	
4	2	経過的要介護	83		経過的要介護	0:30	4:30	3~4時間	有り	無し	有り	有り	有り			7075	708	
5	3	改定良子	136		要介護3	15:00	19:00	3~4時間	有り	有り	無し	無し	無し			6702	671	

※負担金額は端数処理の関係で月間金額とは異なる場合があります。また、日単位でされる加算などは、考慮されていない金額となります。